

423  
91

線毛增 級字名

帖真廟念記

所務事設建

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5

始





425-91

目次

根室線ノ部

釧路根室間八十四哩一分  
大正十年八月五日全通

- 一 釧路市街ノ全景
- 二 釧路舊土人ノ城趾
- 三 厚岸停車場構内ノ全景
- 四 厚岸湖ノ景
- 五 厚岸湖中颯嶋ノ景
- 六 國泰寺
- 七 厚岸停車場ヨリ市街ノ遠望
- 八 霧多布ノ海岸
- 九 落石權現崎ヨリ「ウリリ」嶋ノ遠望 其一
- 一〇 同 其二
- 一一 昆布森附近ヨリ落石半嶋ノ遠望
- 一二 落石無線電信局
- 一三 花咲灣頭ノ景
- 一四 友知附近ノ放牧 其一
- 一五 同 其二
- 一六 同 其三
- 一七 根室港及市街地ノ眺望
- 一八 昆布森附近捕鯨場ノ景
- 一九 國後嶋泊港
- 二〇 國後嶋ノ材木瀝
- 二一 千嶋斜古丹灣
- 二二 「リヌイサン」ノ瀨
- 二三 國後嶋エバラ蟹

大正  
11. 4. 10  
内交



名寄線ノ部

名寄中湧別間七十五哩七分  
大正十年十月五日全通

- 一 石狩北見國境附近ノ線路
- 二 宇津停車場ノ全景
- 三 ハンケオクツタロマナイ川橋梁 其一
- 四 同 其二
- 五 興部海岸ノ景
- 六 沙留海岸流水襲來ノ景
- 七 沙留停車場附近海岸ノ景
- 八 紋別港及市街ノ遠望
- 九 第三湧別川橋梁

増毛線ノ部

留萌増毛間十哩四分  
大正十年十一月五日全通

- 一 留萌市街ノ遠景
- 二 留萌築港防波堤ト激浪 其一
- 三 留萌附近豊漁ノ實景 其二
- 四 同
- 五 線路護岸石垣ニ激スル波浪
- 六 増毛停車場
- 七 増毛市街ノ全景
- 八 増毛突端神威岬ノ勝景
- 九 アイヌ酋長夫妻ノ盛装
- 一〇 アイヌノ寶物
- 一一 アイヌノ狩獵

以上

此ノ書ハ、留萌線ノ全線ニ對シテ、其ノ風景、物産、交通、歴史、人物、社會、教育、産業、文化、藝術、スポーツ、娯樂、その他、各方面ニ對シテ、詳細ニ調査シテ、之ヲ記述セリ。其ノ中、アイヌノ生活、文化、藝術、スポーツ、娯樂、その他、各方面ニ對シテ、詳細ニ調査シテ、之ヲ記述セリ。其ノ中、アイヌノ生活、文化、藝術、スポーツ、娯樂、その他、各方面ニ對シテ、詳細ニ調査シテ、之ヲ記述セリ。



釧路市街ノ全景

根室線八十四哩十七館ノ起點ニシテ本道東海岸ニ於ケル唯一ノ要津ナリ市街ハ釧路川ヲ挾ミ東ニ丘岡ヲ負ヒ西ハ釧路灣ニ面シ灣ノ南方ニ知人熊角アリ半海里ノ熊底自ラ防波堤ヲ爲セリ海陸ノ交通ヲ兼備シ釧路十勝及北見ノ物資集散地ニシテ小樽函館ニ亞シ良港ナリ明治十年頃ヨリ國內鹿銀行ハレ其後附近諸嶺山ノ開坑ニ據リ市街ノ繁榮ヲ來シ明治二十三年特別輸出港トナリ三十二年開港場トナレリ目下築港工事中ニシテ人口四萬有餘ヲ有シ釧路支廳ノ所在地ナリ。





ナリ明治十年頃より國內鹿島行ハ其後南浦山  
ノ開坑ニ據リ市街ノ繁榮ヲ來シ明治二十三年  
出港トナリ三十二年開港場トナレリ日下整頓工  
ニシテ人口四萬有餘ナリ有レテ支路支廳ノ所  
ナリ







鋼路舊土人城址

鋼路市街ノ東方二十丁茂尻矢町ニアリ、鋼路川ノ左岸ニ築カレタル、供餅ノ形状ヲ爲セル城址ニシテ、俗ニ御供山ト稱シ、數百ノ穴居地アリテ土器石器ヲ出ス現今大半削平ニ歸セリ、土人ノ傳説ニヨレバ、約一千年前ニ於テ、鋼路受奴ノ一族ガ根室厚岸十勝三方ノ受奴ノ爲メニ脅カラレシ際ノ古戰場ニシテ、常ニ城壁ヲ築イテ敵ノ襲來ニ備ヘタルモノナリ、此ノ城址ヨリ約二十丁春採湖畔村懸村ニ向僅カニ舊態ヲ止ムル城址アリ、彼等ハ二個所ニ於テ相呼應シテ敵ニ備ヘタルモノナリト。







厚岸停車場構内ノ全景

釧路起點二十八哩七十七釧路國厚岸町大字其龍町  
ニ在リ一衣帶水厚岸本市街ニ面ス尙海陸連絡設備ト  
シテ別ニ當驛ヨリ約六十釧ノ岐線ヲ敷設シ厚岸港ニ  
於ケル貨物專用ノ濱厚岸驛ヲ設ケ國中ノ遠景ハ厚岸  
湖ニシテ湖ノ中央ニ數條ノ線ノ見ユルハ概観ナリ。





厚岸湖ノ景

鐵路厚岸郡ニ在リ厚岸湖ニ通スル鹹湖ニシテ周圍  
七里湖中ニ有名ナル鰺嶋アリ鰺ノ產地トシテ知ラル  
湖中遙カニ社影ノ見ユルハ即チ鰺嶋ノ大ナルモノニ  
シテ干潮時ニハ鰺嶋水面ニ顯ヘル、モノ猶多數アリ





厚岸湖中鵜嶋ノ景

全鵜嶋ノ貝殻ヨリ成ル鵜ノ産卵其因類ニ異著シ年々  
其面積ヲ擴大スト鵜嶋ハ鹽性植物發達ノ順序ヲ示ス  
好例トシテ保存スヘキ天然記念物ニ指定キラレニム  
所ニシテ富貴中秘瀨ノ如キハ總テ鵜嶋ナリ。



國泰寺

鐵路國厚岸町盤螺山麓ニ在リ景雲山國泰寺ト號ス盤螺山ハ厚岸市街ノ西南ナル脚角ニシテ愛甲崎ト共ニ海濱ノ東岸ニ突出シ南北相距ル半里餘バラツン俗ニ丸山トモ言ヒ江戸幕政ノ時砲臺ヲ置カレ埠頭ヲ警備セリ萬延中建ツル所ノ盤螺山ノ碑アリ當寺ハ文化年間徳川家康公社奉行松平周防守兩館奉行戸川筑前守松平淡路守等ニ命ジ蝦夷地ニ天臺淨土禪宗ノ三刹ヲ建立セシメタリ國泰寺ハ其一ニシテ禪宗僧文翁ノ開基ナリ當時外教ノ檢査ヲ掌ラシメタル官寺ニシテ境内櫻花觀賞ノ勝地ナリ。



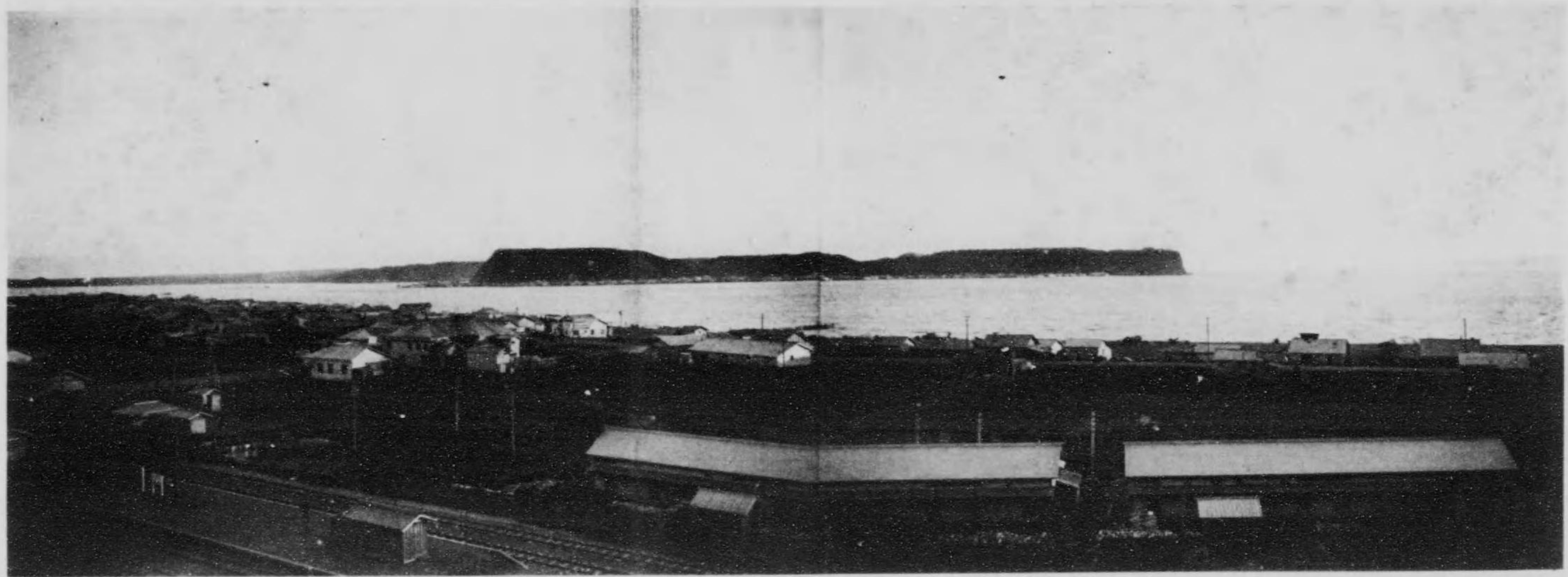


厚岸停車場ヨリ市街ノ遠望

厚岸港ハ東海岸ノ要津ニシテ、天然ノ灣形ハ往昔ヨリ  
船舶ノ寄航地タラシメタリ、海産物ノ産夥シク近來特  
ニ木材石炭ノ産出著シク増加セリ、港口ニ大黒嶋アリ  
嶋上ニ燈臺アリ斯ク山、洞、海ノ三景相俟ツテ夏秋ノ眺  
メ頗ル佳ナルモノアリ、東海岸唯一ノ勝地ト呼バレ、近  
時出入船舶ハ輻輳逐日殷賑ノ域ニ赴カントス、圖中海  
岸ニ連ナル市街ハ厚岸町ノ一部真龍町ニシテ、對岸ノ  
高地ハ厚岸半島、其前面ノ市街ハ厚岸本町、左方ハ厚岸  
湖ニシテ右方ハ厚岸灣ナリ、右端ニ遠ク見ユルハ、シレ  
ハ岬ナリ







三陸相模トチ奥ノ純  
ノ類ニ住ナルモノアリ、東海岸唯一ノ野地ト呼バレ、近  
時出入船船一輪船送日般船ノ域ニ赴カントス、間中海  
岸ニ遊ナル市街ハ厚岸町ノ一部眞龍町ニシテ、野岸ノ  
高地ハ厚岸半島其前面ノ市街ハ厚岸本町、左方ハ厚岸  
湖ニシテ右方ハ厚岸湾ナリ、右端ニ遠ク見ユルハ、シレ  
バ碑ナリ





霧多布ノ海岸

釧路國厚岸郡霧多布市街背面ノ海岸ニシテ灣形ヲナ  
セドモ灣口ニ崎嶇岩礁多ク漁舟ノ外出入スル事ヲ得  
ズ故ニ船舶ハ市街前面ノ濱中灣ニ寄港ス、霧ヲ廻リテ  
霧多布神町等ノ市街アリ漁業盛大ナリ。





落石権現崎ヨリウツリ岬ノ遠望

根室國落石灣外一帯ノ海岸ハ危礁亂立シ沿岸數哩ハ  
殆ンド斷崖絶壁ヲ爲シ風景頗ル佳ナリ遠ク眺ルガ如  
ク望ムハウツリ岬及附近ノ岩礁ナリ。





落石権現崎ヨリウツリノ端ノ遠望（其二）



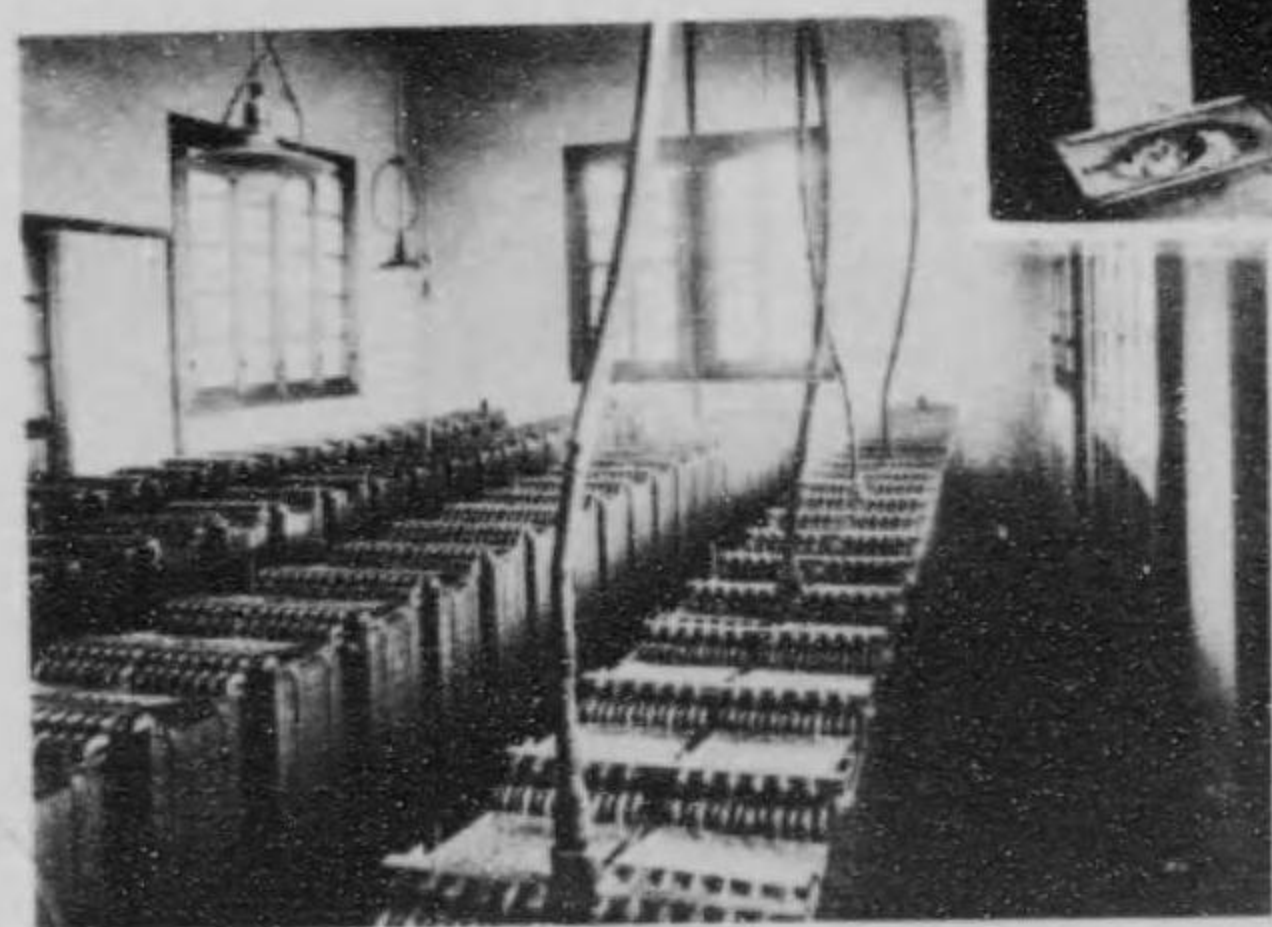
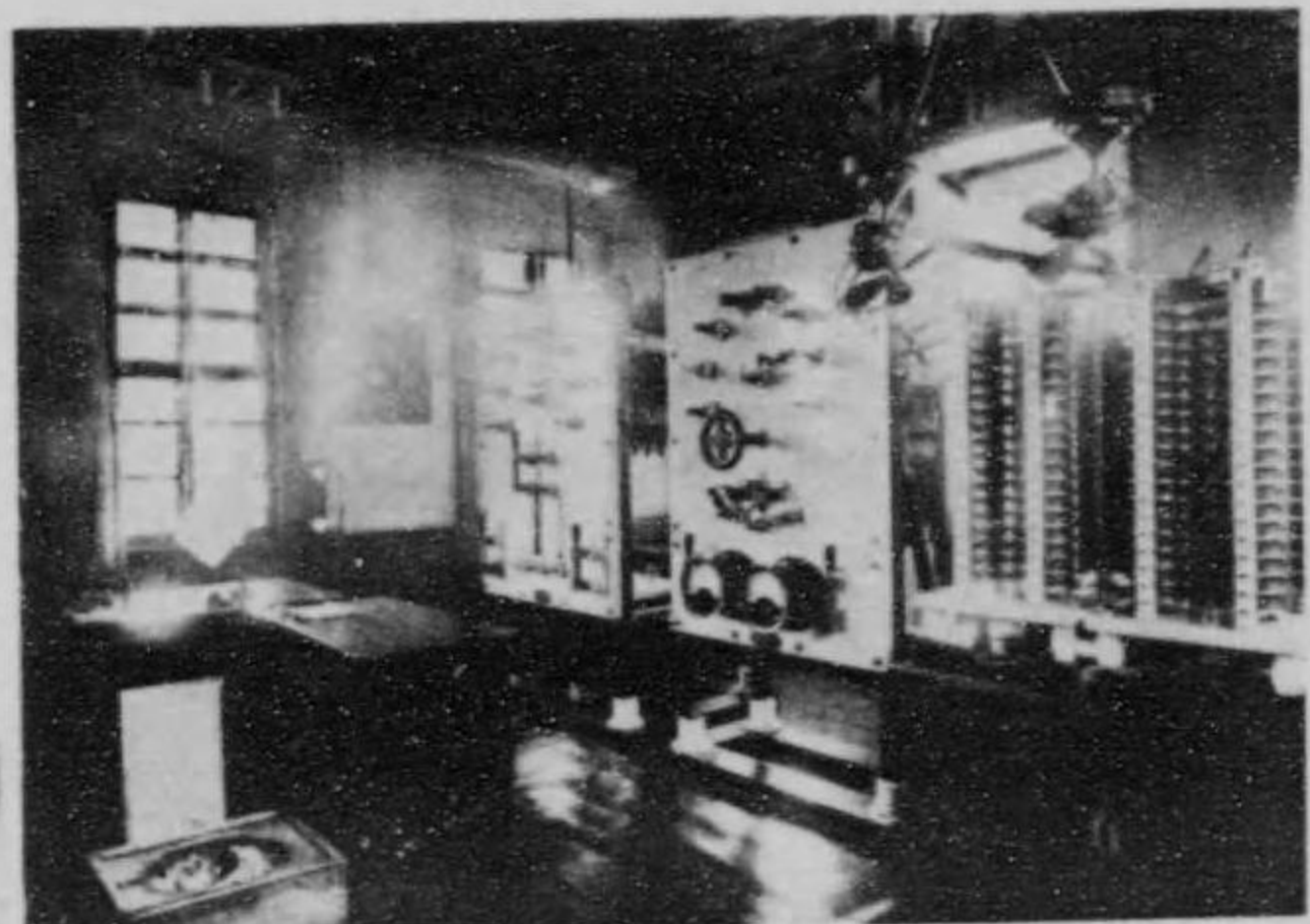


昆布森附近ヨリ落石半島ノ眺望



落石無線電信局

根室國根室郡和田村大字落石村落石半嶋ノ突端海拔  
百餘尺ノ高地ニ在リ太平洋上ノ航路通信ヲ爲ス事頗  
ル頻繁ニシテ入港船舶ノ動靜ヲ知リ航海上ノ便益ヲ  
得ル事多大ナリ同局ハ落石停車場ヲ距ル僅カニ里餘  
圖ハ其内部ヲ撮影セルモノナリ。







花咲灣頭ノ景

花咲灣ハ根室半島ニ於テ根室港ノ背部ニ位ス根室ノ  
方面オコソツク海岸ハ冬期流水寄ヒ來リ結氷スルモ花  
咲方面即チ太平洋岸ハ結氷セザルヲ以テ冬期ハ根室  
港ノ代ヲニ利用セラル。灣頭ノ燈臺ハ第一等回轉白光  
ニシテ晴天光遠二十餘里ニ及ブ根室花咲間ノ道路一  
里半ニシテ花咲驛ヨリ灣迄ハ十五町餘ナリ。



友知附近ノ放牧

根室附近ニ於ケル牛馬ノ放牧ハ明治八年頃開設セラレタリ初メ官ニ於テ厚岸地方放牧スル所ノ牛馬ヲ集メテ惡種ヲ改良セント試ミ牧草ヲ播シガ能ク繁茂セルヲ以テ更ニ地ヲ墾メテ棚ヲ植テ種類ノ混交ヲ防ギ牛馬舎ヲ設置セリ牧場ハ形勝ノ地ニシテ大農的放牧ニ接スルノ時實ニ一幅ノ好書題ナリ。







友知附近ノ放牧 (其二)





友知附近ノ放牧  
(其三)



根室港及市街地ノ眺望

北海道本島最東端ノ都會ニシテ古キ歴史ヲ有シ明治十五年三縣設置ノ時代ニハ根室縣廳所在地タリ現時根室支廳ノ所在地ニシテ人口一萬五千ヲ有ス千嶋列島ヲ控ヘ海産物ノ輸出多ク其年額百數十萬圓ニ上リ且ツ附近原野開發セラレ根室千嶋兩國ノ物資集散地ナリ東北灣頭ノ高地ニ金比羅神社アリ寛政文化ノ頃高田屋嘉兵衛ノ建立セルモノナリト境内ニ立チテ港外ヲ眺ムレバ遠ク國後目梨一峠ノ裡ニアリ。







昆布森附近捕鯨場ノ景

根室國昆布森ノ海岸ニ數年前ヨリ東洋捕鯨會社ノ漁  
場設置セラレ捕鯨發動機船ハ近海ニ出漁シ漁獲セル  
鯨ハ總テ之ノ海岸ニ運ビ來リテ處分ス遙カニ見ユル  
ハ「ウツリ」モウツリ」ノ二嶋ナリ。

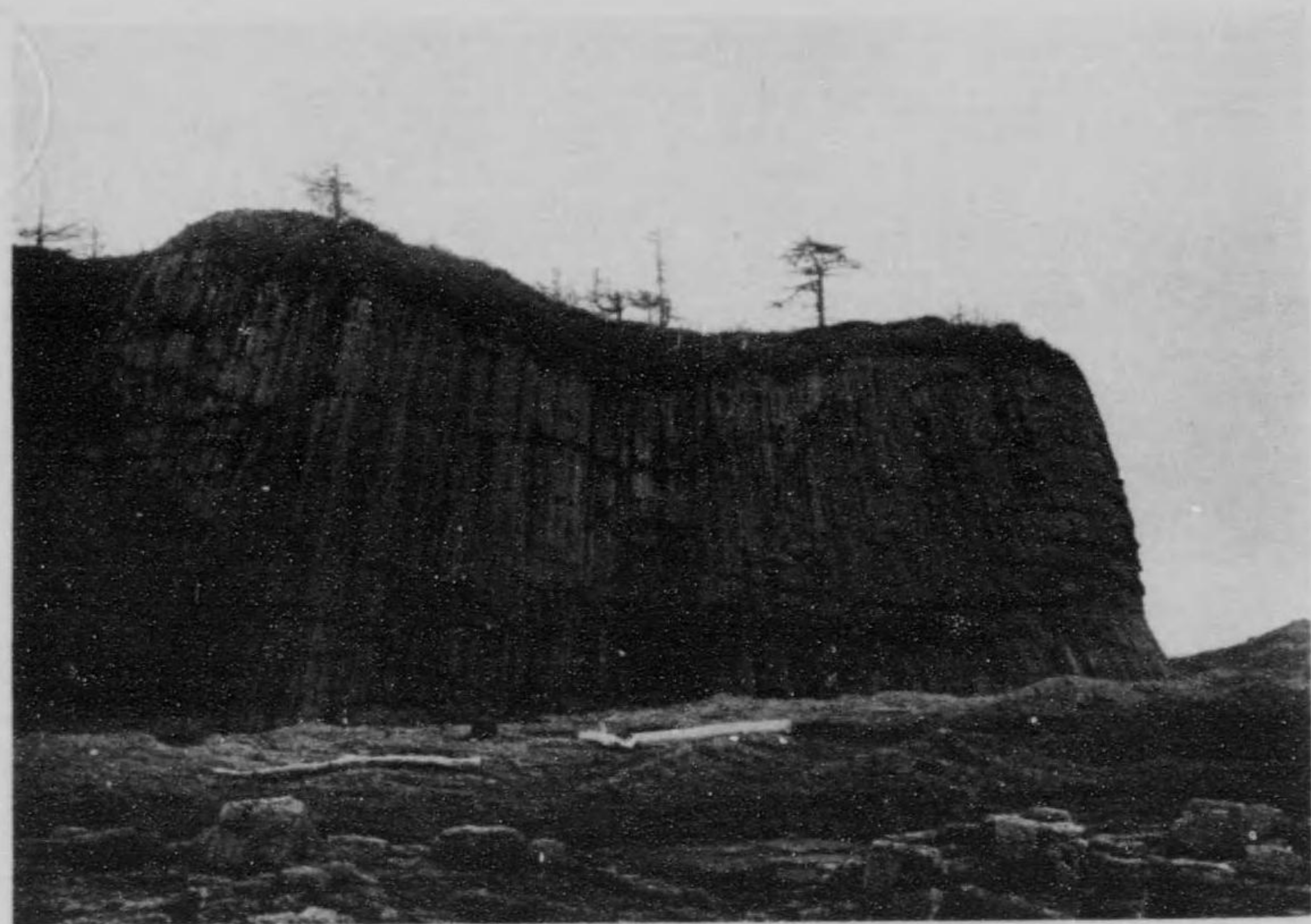


國後嶋泊港

千嶋國國後嶋泊村ハ古來國後ノ要津ニシテ會所ノア  
リシ所本地名ハ潤地泊(ウロチトマ)ト言ヒ享和元年  
七月函館奉行羽太正義、島官重松、熊五郎ニ命ジテ井戸  
ヲ掘ラシメタリ土人ハ元井戸ヲ穿ツ事ヲ知ラズ和人  
ニ據テ始メテ井戸ヲ掘ルヲ知ルト一月ヨリ三月マデ  
ハ海岸水結シテ船舶ノ交通杜絶ス嶋民ハ重ニ漁業ヲ  
以テ生計トス大正四年以來古守嶋ト本道トノ定期航  
路開設セラレ當所ニ寄港ス。



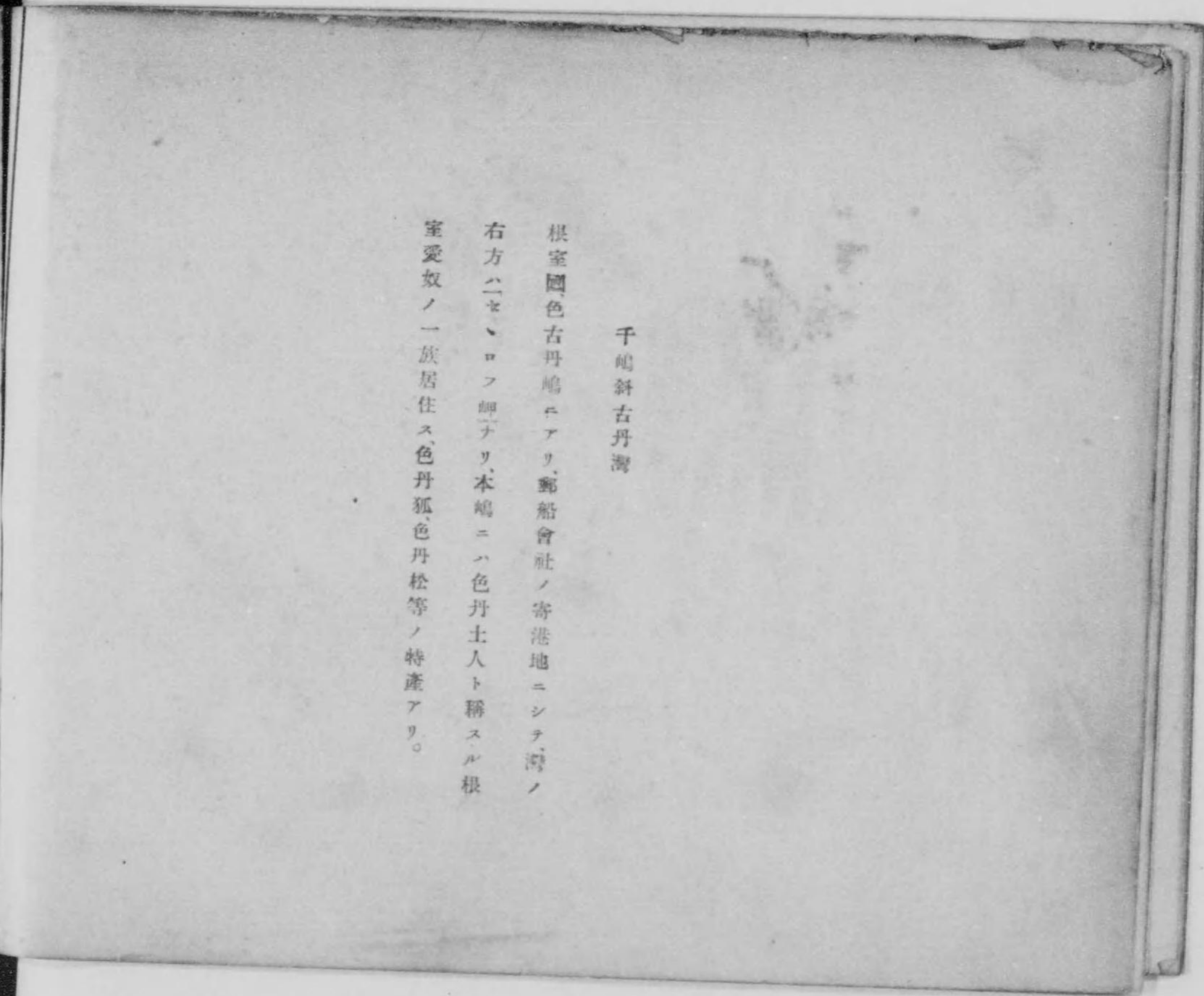




國後嶋ノ材木巖

千嶋國國後嶋泊村ニ在リ巖層悉ク木材ヲ集積シタル  
ガ如キ觀アルヲ以テ材木岩ト稱ス附近ノ巖壁變化多  
ク海水清澄ニシテ風光甚タ佳ナリ。





千嶋斜古丹灣

根室國色古丹嶋ニアリ、郵船會社ノ寄港地ニシテ灣ノ  
右方ニセ、ロフ嶋ナリ、本嶋ニハ色丹土人ト稱スル根  
室愛奴ノ一族居住ス、色丹狐、色丹松等ノ特産アリ。



千嶋斜古丹灣

根室國色古丹嶋ニアリ、郵船會社ノ寄港地ニシテ、灣ノ  
右方ハセ、ロフ鯉ナリ、本嶋ニハ色丹土人ト稱スル根  
室愛奴ノ一族居住ス、色丹狐色丹松等ノ特産アリ。



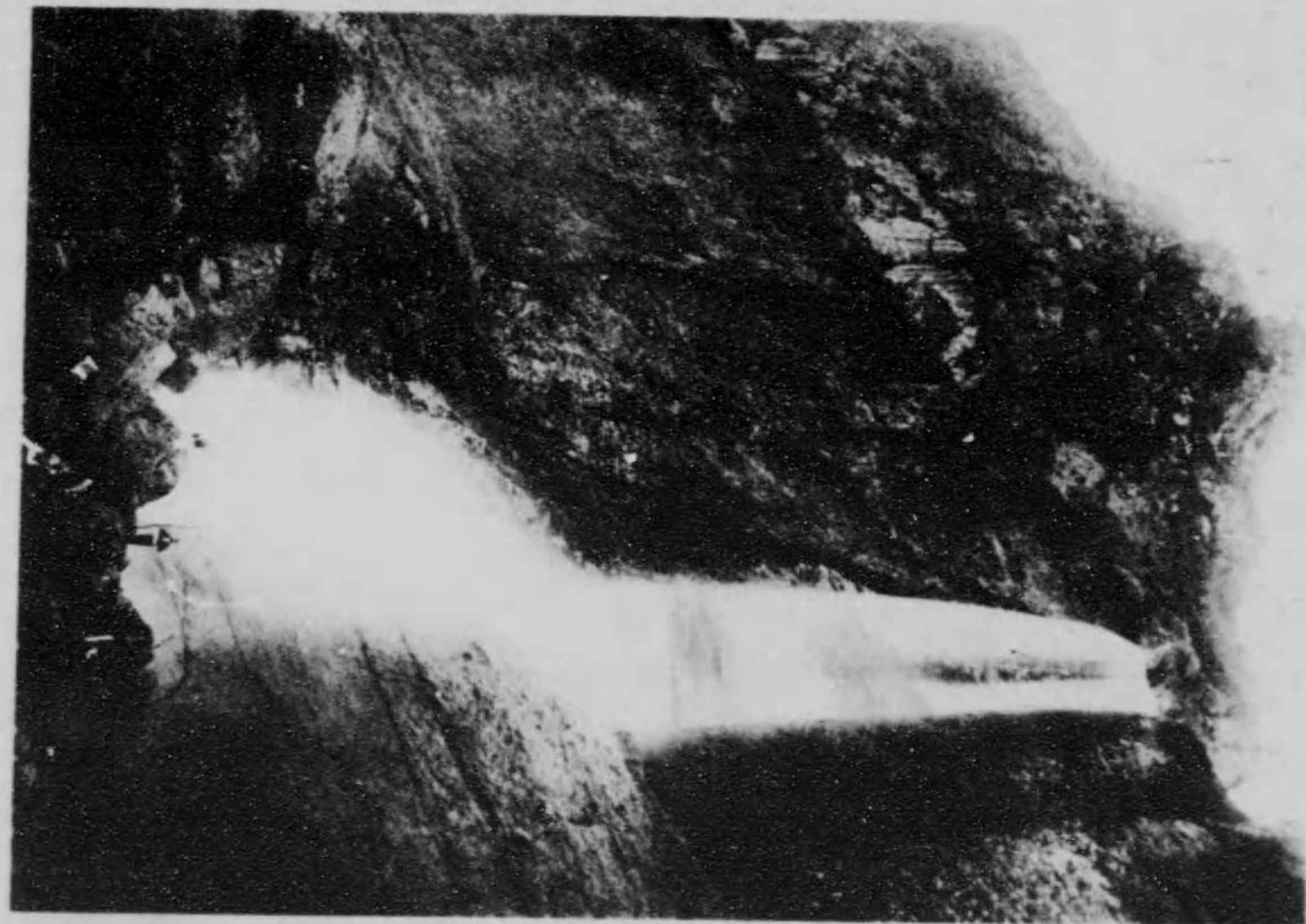


右方ハニセ、ロココトナリ本嶋ニハ色丹土人ト稱スル根  
室受奴ノ一族居住ス色丹狐色丹松等ノ特産アリ





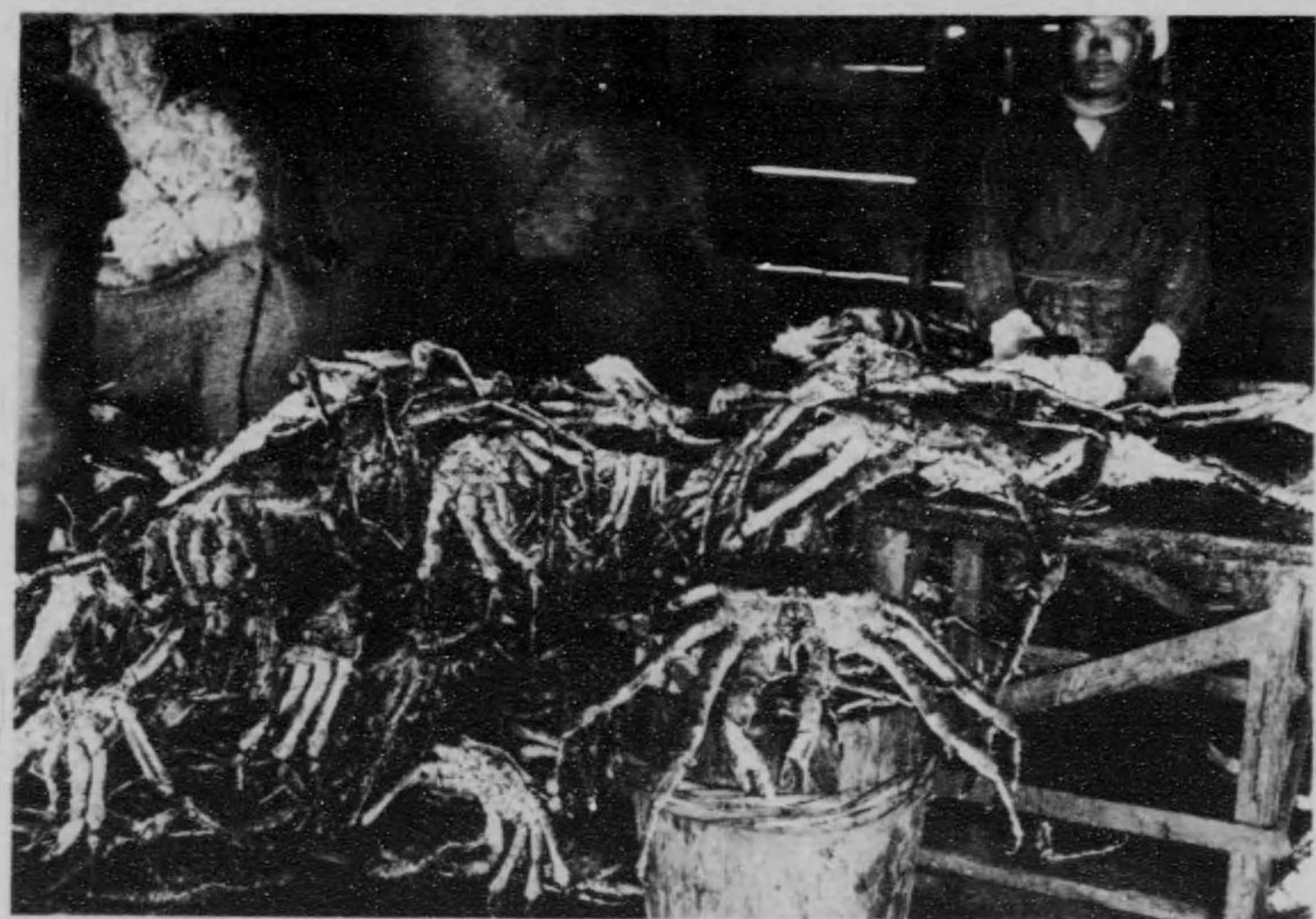




フスイサンノ瀧

千嶋國樺尾嶋栗取郡ニアリ斷崖ヨリ落下スル瀑布ハ  
隆起セル岩壁ニ激突シテ飛沫四散ス流レハ更ニ第二  
ノ瀧トナリテ落來ル附近一帯ノ絶壁ハ實ニ千姿萬態  
其ノ奇景能ク筆紙ニ盡シ難キモノアリ。





國後嶋エバラ蟹

千嶋國國後郡泊村宇ウエンナイニ産スルエバラ蟹ハ、  
收穫多大ニシテ主トシテ釀詰トシ其ノ年額五十萬圓  
ノ巨額ニ達ス、形体ノ大ト美味ヲ以テ内外ノ好評ヲ博  
セリ。





石狩北見國境附近ノ線路

名寄起點廿一哩、天鹽北見國境附近ノ線路ニシテ、上興部ニ向ヒ、約二哩餘ノ區間四十分ノ一急勾配ヲ以テ降リ、右轉左折山麓ヲ迂繞シテ名寄川ノ支流、パンケルベシベノ溪谷ニ進ム。車窓眼ヲ放テバ千古蒼涼ヲ入レザル森林ハ春ノ綠葉秋ノ紅葉ヲ健バシムルモノアリ、羊腸タル鐵路ノ旋廻曲ヲ奏デ、快行スル處快絶極リナシ。

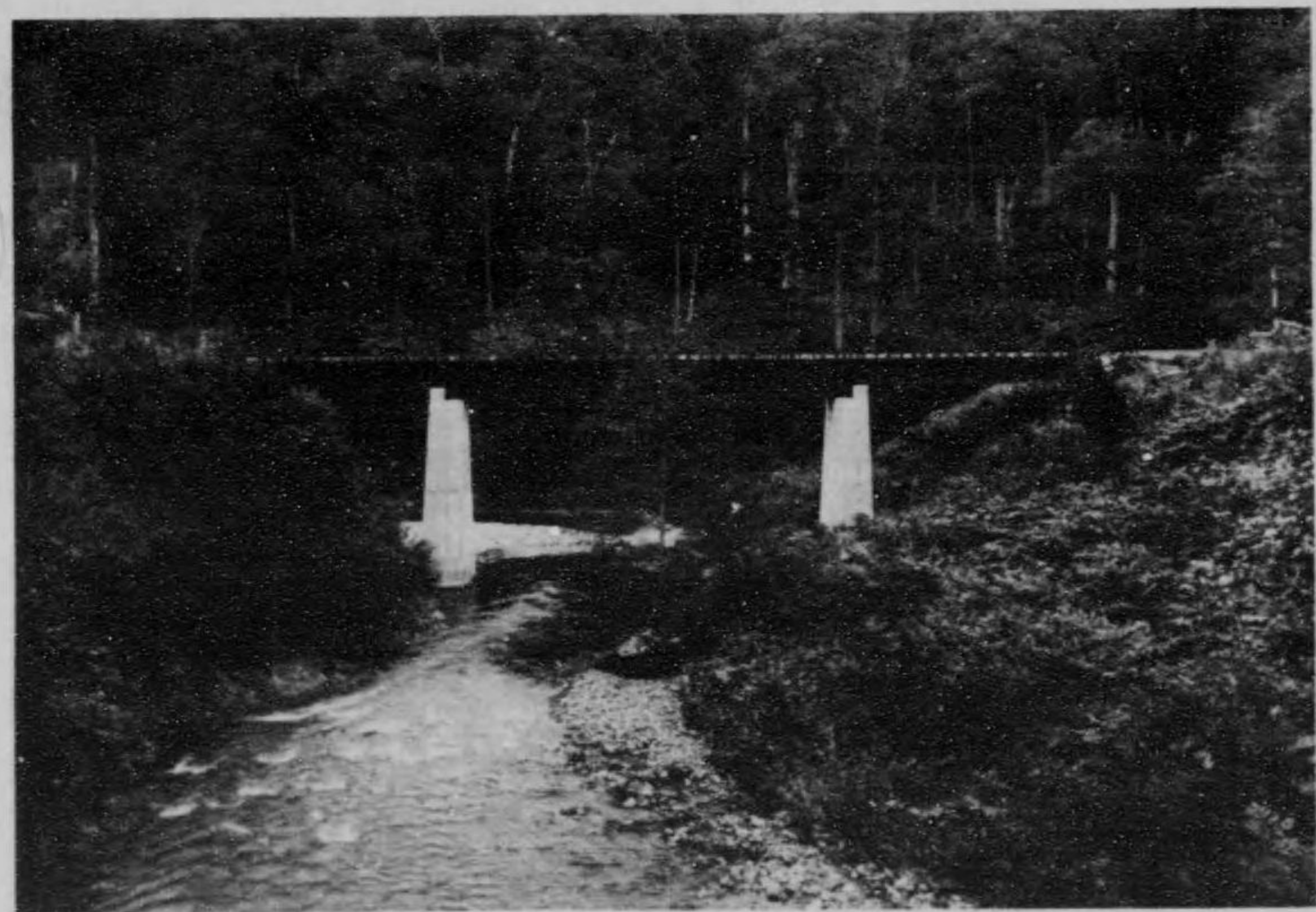




宇津停車場ノ全景

中湧別起點卅九哩二十六館北見國紋別郡興部村興部  
川ノ流域ニアリ附近一帯ノ平地ハ地味肥沃ニシテ殆  
ンド開墾セラルル左右ノ高地ハ牧農兼業トシテ有望ナ  
レバ開發期シテ待ツベキモノアリ。





バンケオクタロマナイ川橋梁 (其一)

位置	中務川起點四十一哩三十二節五十三節六
徑間	三十呎二連 五十呎一連
構造	混凝土
基礎	天然岩礎





バンケオクタワロマナイ川橋梁(其二)



興部海岸ノ景

北見國紋別郡興部村一帯海岸ニ面スル地形ハ波狀ヲ  
ナセル臺地ニシテ多クハ牛馬ノ牧場ニ使用セラル  
ハ夏期ノ炎天ニ此蚊ヲ避ケテ涼風ヲ慕ヒ海濱ノ砂地  
ニ集レル牧馬ノ一群ニシテ遙カノ沖ニ見ユル汽船ハ  
諸所ノ河口ニ流下セシ木材積取ノタメ北見沿岸ヲ航  
行スルモノナリ。





沙留海岸流水變來ノ景

オコツク海岸ハ二月ヨリ三月ノ候ニ於テ千嶋方面ヨ  
リ海流ニ從テ來ル流氷ノ爲メニ鎖サレ航海杜  
絶ス押寄スル流水ノ巾ハ里餘ニ及ビ一大壯觀ヲ呈ス  
三月末ヨリ四月初ニ於テ徐々流出スルカ或ハ時ニ風  
ノ爲メ一夜ニ流レ去ル事アリ。







シベリア沿岸ハ二月ヨリ三月ノ候ニ於テ千嶋方面ヨ  
リ海流ニ從テ來ル流氷ノ爲メニ鎖サレ航海仕  
絶ス押寄スル流氷ノ巾ハ里餘ニ及ビ一大壯觀ヲ呈ス  
三月末ヨリ四月初ニ於テ徐々流出スルカ或ハ時ニ風  
ノ爲メ一夜ニ流レ去ル事アリ。





沙留停車場附近海岸ノ景

オコツク沿岸一帯ハ多量ニ帆立貝ヲ産ス北見國紋別  
郡沙留ノ海岸亦有名ナル帆立貝ノ漁場ニシテ關中白  
ク砂礫ノ如キハ貝殻ノ散亂セルモノナリ本道帆立貝  
ノ年額ハ六百萬貫ノ漁獲アリ貝柱ノ産額ハ年額百數  
十萬圓ニ上リ支那へ輸出スル主要物産ノ一ナリ。



紋別港及市街ノ遠望

紋別港ハ北見國紋別郡ノ中央ニ位ス、遠ク寛保年間ヨ  
リノ沿革ヲ有シ、現今人口六千、停車場ハ中湧別起點十  
七哩七十箇市街ノ脊部高地ニ在リ、海面ハ天然ノ港灣  
ヲ形成シテ、ゴッコツシ海ヲ抱キ、北見海岸ニ於ケル要津  
ノ一トシテ、現ニ築港ノ試験工事中ナリ、附近ノ沃野及  
森林ノ區域廣大ニシテ、拓殖開發ノ進歩ト共ニ市街ノ  
發展期シテ待ツベク、沿岸ハ主トシテ鱈、鮭、昆布ヲ産シ  
年々産額ヲ増大ス、又本道帆立貝漁場ノ中樞地ニシテ  
支那ヘノ輸出額百數十萬圓ニ達シ、漁期ニ至レバ沿岸  
貝殻山ヲ築クノ盛況ヲ呈ス。







この町は、海に面した町で、漁業が盛んである。町には、多くの漁船がおり、漁獲物を卸すための市場がある。町には、学校、病院、郵便局などがある。町は、美しい風景を誇る。町には、多くの観光客が訪れる。町には、多くの伝統的な文化がある。町には、多くの歴史がある。町には、多くの思い出がある。町には、多くの未来がある。





第三湧別川橋梁

位 置	中湧別起點一哩三節二十六節八
橋臺面調長	五百五十五呎四吋
桁及徑間	六十呎鋼桁二連 六十呎鋼桁五連 三十呎鋼桁三連
橋臺ノ材質	混・凝 土
橋脚ノ材質	間知石雜積混凝土
臺礎石ノ構造	第一乃至第八橋脚ハ井筒沈下第九橋脚及橋臺ハ混凝土



留萌市街ノ遠景

天鹽國留萌郡留萌町ハ留萌支廳ノ所在地ニシテ、人口一萬四千ヲ有シ増毛町ト共ニ鱈漁場トシテ知ラレ尙鱈鮭鮫海扇等ノ魚介豊富ナリ停車場ヨリ十町ヲ距ル洞越海岸ノ海水浴場ハ本道屈指ノモノニシテ南ニ日和山ヲ負ヒ右ニ近ク洞越岬ノ奇岩ヲ臨ミ左ニ雄冬岬ヲ距テ遙カニ岩峯別増子山ノ連山ヲ望ム處白帆去來眺望鮮カナリ附近又石炭及農産ニ富ミ農村ノ發達ト漁業ノ盛行トニ伴ヒ諸物貨ノ出入多ク小樽ニ通スル船舶ハ常港ニモ寄港ス。









留前築港防波堤ト激浪

留前港ハ巨費ヲ投シテ築港ノ工事中ナリ、防波堤ノ延  
長四千六百尺間ハ巨浪ノ防波堤ニ激突セル光景ナリ。





留前附近豊漁ノ實景其二

鯉漁ハ本道水産物中其産額ノ多キ事第二位ヲ占メ年  
額二千五百萬圓ニ達ス留前附近ノ海岸ハ其中心漁場  
ニシテ漁具ハ地曳網臺網及地網等ヲ用ヒ季節ハ陽春  
三月ヨリ五月ニ至ル間トス





留新附近豐漁ノ實景（其二）





鐵路護岸石垣ニ激スル波浪

増毛線二呷附近太平洋ノ暴風護岸ノ石垣ニ激スル波浪  
ノ増毛商道ヲ阻害シ甚クニ強大ナル護岸ニ激スル波浪  
シ幸フシテ鐵路ヲ通ズ。





増毛停車場

留萌起點十哩二十六鎮本線ノ終端驛ニシテ増毛市街ノ東端海岸ニ位ス。





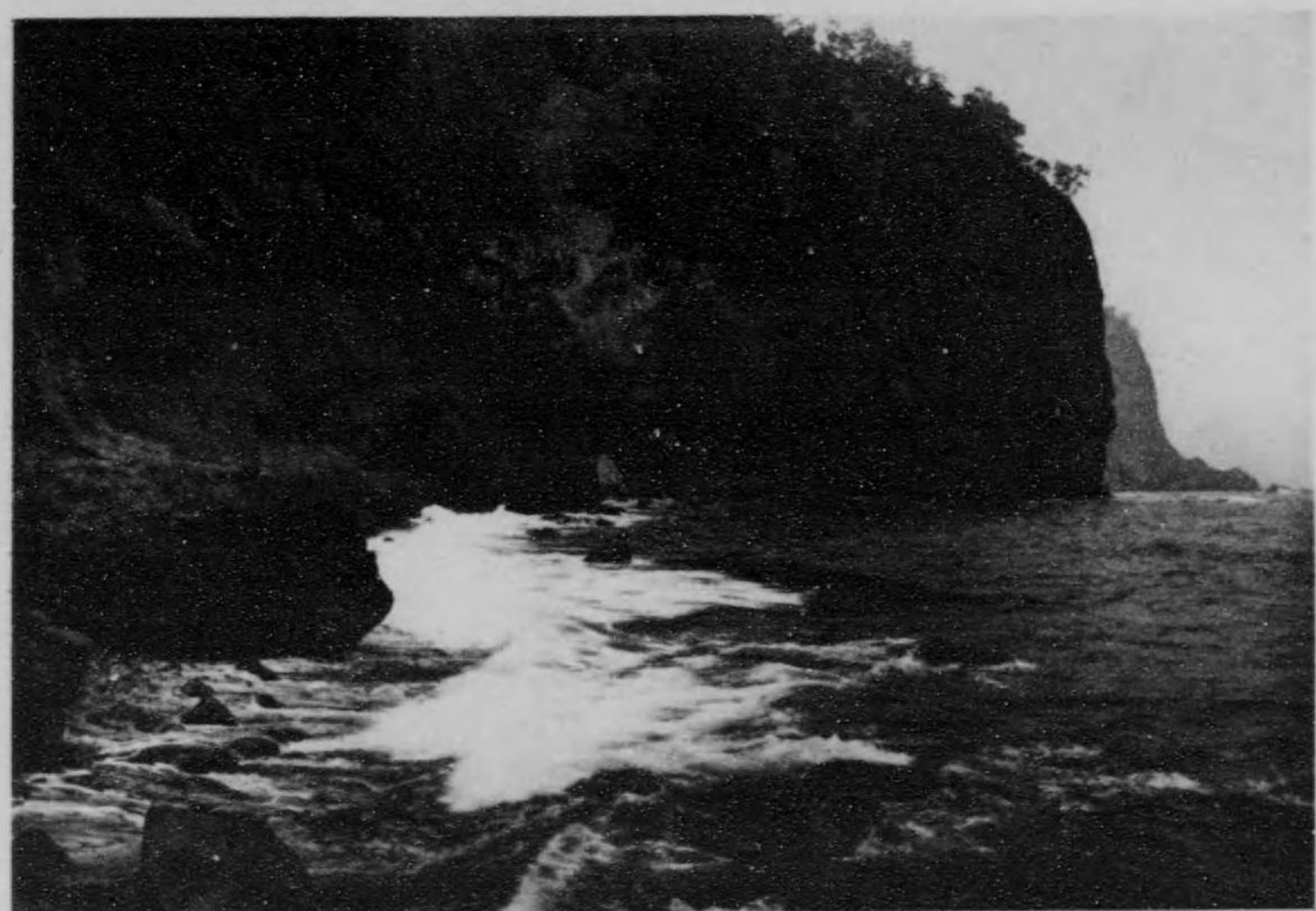
増毛市街ノ全景

往昔ハ松前藩ノ漁場ニシテ、寶曆安永ノ頃松前ノ商村  
山傳兵衛之ヲ買收シ、安政六年秋田藩ノ采地トナリ明  
治元年箱館府ニ屬ス十州中最モ古キ漁村トシテ著名  
ナリ、現今人口一萬有餘ヲ算ス、海上遙カニ天賣焼尻ノ  
二嶋ヲ一望ノ裡ニ收メ、後ニ佳冬ノ鱈ヲ負ヒ風光營フ  
ルニ物ナシ、興場所ノ盛色トシテ鱈ノ漁期ニ至レバ漁  
夫ノ入稼スルモノ夥シ。



増毛突端神威御ノ勝景

増毛町ニ連ナル本道有極ノ険漁場ニシテ初春ノ候鯉  
ノ大群神威御ニ集ミ増毛ノ漁民大集シテ漁獲ニ從事  
ス昔時此ノ鯉ニ往シタリト言傳フ上川見聞記ニ曰  
ク上川郡ノ土人淨瑠璃ト言フモノヲ語ル事アリ其ノ  
淨瑠璃ノ様ヲ聞クニ往昔天竺國増毛ノ高山嶺冬ニ於  
テ大強ノメノコアヲ常ニ魔術ヲ以テ空中ニ上リ法ヲ  
行フ此ノメノコ上川郡ニテ津流ノ土人ト事レシ時常  
モ高麗渡リ來リテ耕農ヲシテ彼ノ大強ノメノコヲ投  
倒セシメタリト夫レヨリ義經ハ彼ノメノコノ養子ト  
ナリテ器物ヲメノコヨリ取リ收メタレバ魔術消滅ス  
ト言フ今日尙土人等ハ淨瑠璃ヲ聞クニ當リテハ最モ  
謹慎シ耕農ガ彼ノ大強ノメノコヲ投グル場ニ至レバ  
土人悉ク平伏スト。



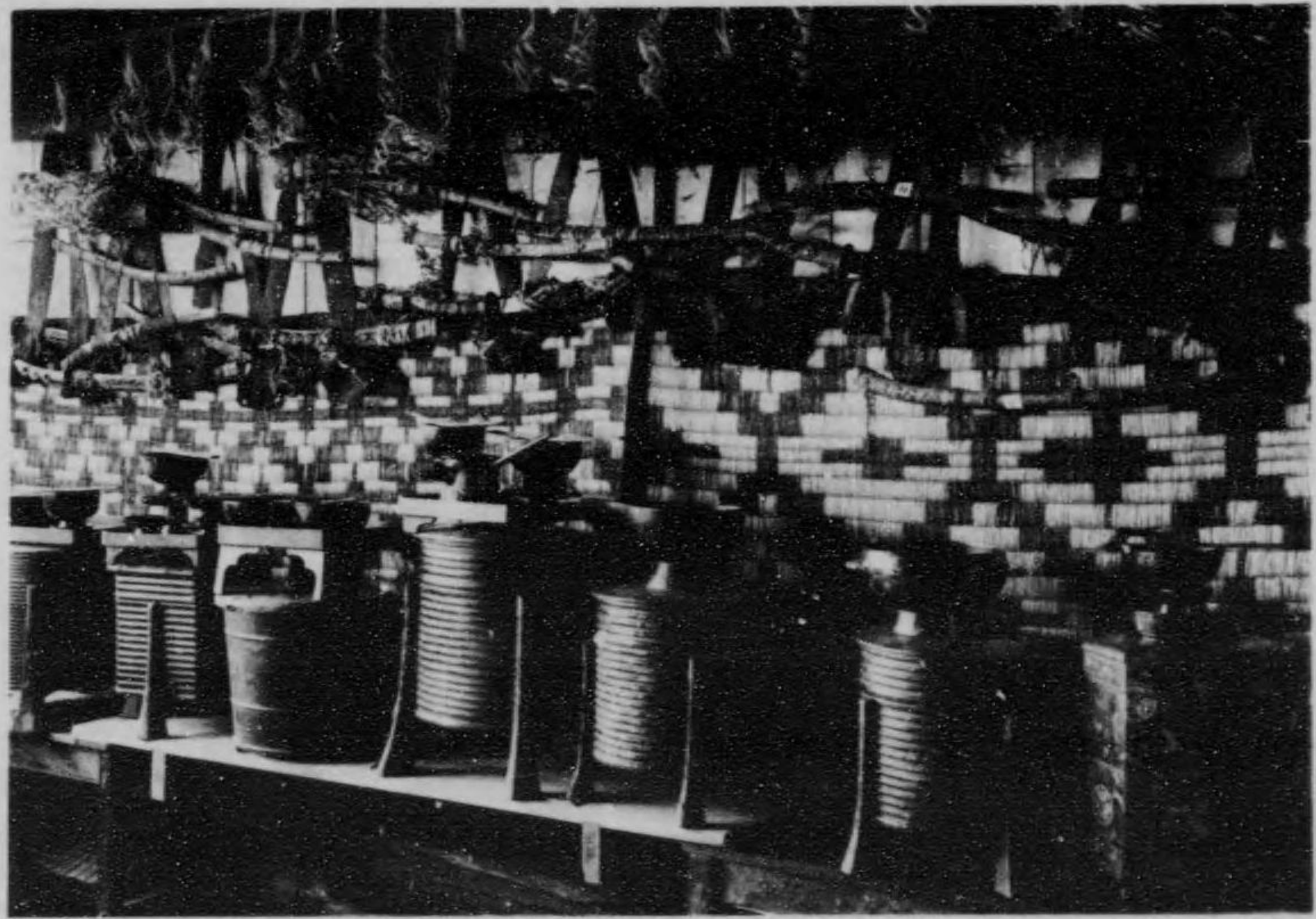


アイヌ酋長夫妻ノ盛装

愛奴ノ盛装スベキ時ハ熊祭或ハ婚禮其他ノ祭禮ニシテ弓ヲ手ニスル時ハ只熊祭ノミナリ。







アイヌノ寶物

愛奴ノ寶物ニシテ、重ニ和人ト交易セルモノ、彼等ハ祖  
傳ガ遺經ヨリ傳ヘラレタルモノトシテ、大切ニ保存ス。  
其中、鹿ノ如キモノハ、槍、箭等ニ際シ、神ニ捧グル供物  
ノ器ナリ、寶物ハ、重ニ刀、劍、弓、矢、陣、羽、織、罽、毳等ナリ。



アイヌノ狩獵

愛奴ガ狩獵ニ要スル武器ハアマツボト稱スル槍ニシ  
ク背ニ負ヒ居ルハ其良ニ要スル器具ナリ、獲物ヲ射殺  
スニハ「ブシ」ト稱スル毒草ノ汁ヲ塗タル毒矢ヲ使用ス。





大正十一年三月二十日印刷  
大正十一年三月二十五日發行

鐵道省北海道建設事務所

印刷者 本間清造  
札幌區北二條西三丁目一番地

印刷所 北海石版所活版部  
札幌區北二條西三丁目一番地



終

